

令和元年 8 月 1 日
相模原市発表資料

令和元年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

令和元年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で85件(6件増(前年比。以下同じ。))の火災が発生し、死者は3人(4人減)で、負傷者は15人(4人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は18,319件(150件増)、搬送人員は16,226人(235人増)で、共に過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 予防課(火災関係)

042-751-9117

救急課(救急関係)

042-751-9142

令和元年上半期(1月～6月)における火災の概要(速報値)

令和元年上半期(1月～6月)に市内で85件の火災が発生しました。
火災による死者は3人で、負傷者は15人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年と比べ6件の増加

火災件数は85件で、前年と比べると6件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年と比べ、建物火災は50件で4件増、林野火災は3件で同数、車両火災は8件で3件減、その他の火災は24件で5件増となっています。

(2) 出火原因の第1位は「放火(疑い含む)」、続いて「たばこ」

全火災85件を出火原因別に見ると、「放火(疑い含む)」が20件(23.5%)で1位、続いて「たばこ」12件(14.1%)、「電気機器」6件(7.1%)、「こんろ」5件(5.9%)の順となっています。

(3) 火災による死者は3人、前年と比べ4人の減少

火災による死者は3人で、前年と比べると4人減少しています。

火災種別ごとに見ると、2人が建物火災、1人がその他火災により亡くなりました。

また、死者3人は、いずれも65歳以上の高齢者です。

負傷者は、15人で前年と比べ4人増加となっています。

(4) 前年に比べ建物焼損棟数は増加、焼損面積は減少、損害額は減少

焼損棟数は67棟で、前年と比べると3棟増加しています。

建物の焼損面積は1,318㎡で前年と比べると286㎡減少しています。

損害額は1億3,241万5,000円で前年と比べると3,274万1,000円減少しています。

2 火災概況

項 目		令和元年上半期	平成 30 年上半期	増 減	
合 計 (件数)		85	79	6	
火災種別	建物	件 数	50	46	4
		面積(m ²)	1,318	1,604	286
	林野	件 数	3	3	0
		面積(a)	1	2	1
	車 両	8	11	3	
	船 舶	0	0	0	
	航 空 機	0	0	0	
	その他	件 数	24	19	5
面積(m ²)		4,594	6,667	2,073	
原因別	失 火(構成比)	57 (67)	57 (72)	0	
	放火(疑い含む)(構成比)	20 (24)	14 (18)	6	
	不 明(構成比)	8 (9)	8 (10)	0	
焼 損 棟 数		67	64	3	
り 災 世 帯		44	49	5	
り 災 人 員		96	107	11	
死 者		3	7	4	
負 傷 者		15	11	4	
損 害 額 (千円)		132,415	165,156	32,741	

* 小数点第 2 位を四捨五入

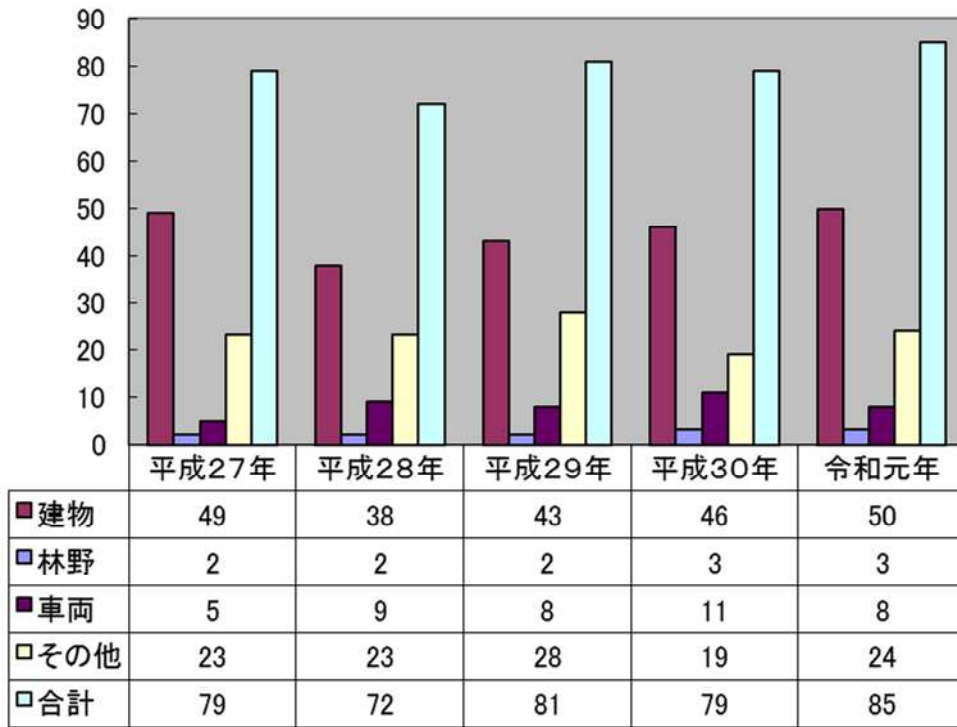
3 出火原因

令和元年上半期 85 件			平成 30 年上半期 79 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	放火(疑い含む)	20 (23.5%)	1	た ば こ	15 (19.0%)
2	た ば こ	12 (14.1%)	2	放火(疑い含む)	14 (17.7%)
3	電 気 機 器	6 (7.1%)	3	電 気 機 器	7 (8.9%)
4	こ ん ろ	5 (5.9%)	4	火 遊 び	4 (5.1%)
5	配 線 器 具	4 (4.7%)	4	電 気 装 置	4 (5.1%)
そ の 他		38 (44.7%)	そ の 他		35 (44.3%)

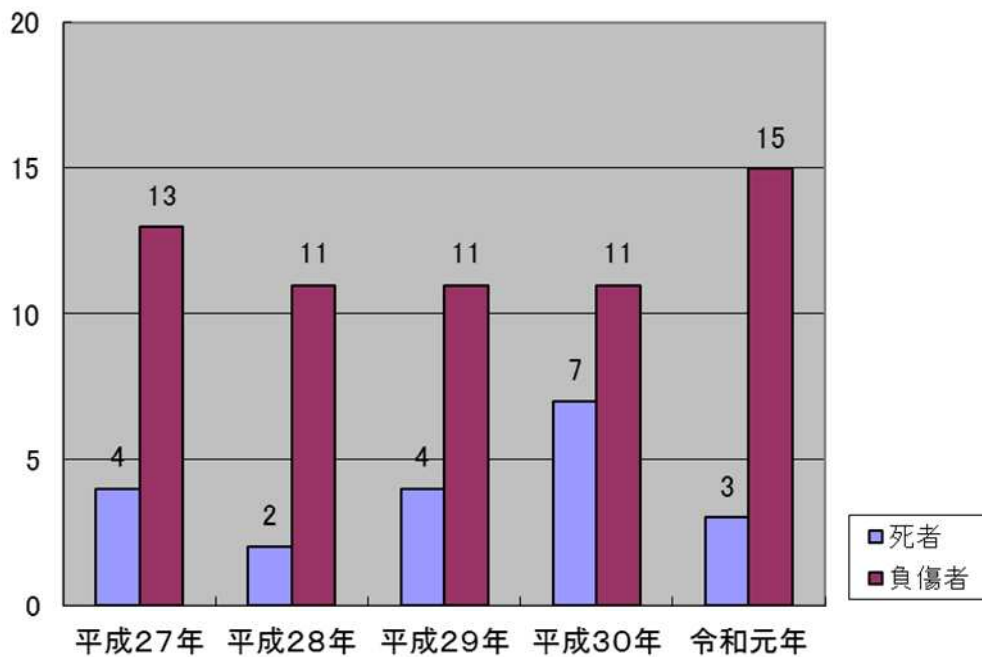
* 小数点第 2 位を四捨五入

* 括弧内は全体件数に対する割合

過去5年 火災件数



過去5年 火災に伴う死傷者数



令和元年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は18,319件、搬送人員は16,226人で、
共に過去最多となりました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年と比べ150件増加

令和元年上半期の救急出場件数は18,319件、搬送人員は16,226人で、前年と比べ救急出場件数は150件、搬送人員は235人増加しています。

【図1】

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(11,697件 63.9%)が最も多く、「一般負傷」(2,437件 13.3%)、「転院搬送」(1,549件 8.5%)、「交通事故」(1,252件 6.8%)と続いています。

(3) 65歳以上の高齢者の搬送人員は前年と比べ233人増加

65歳以上の高齢者の搬送人員は、8,989人(前年比233人増)で、全体の搬送人員の55.4%を占め、過去最多となりました。

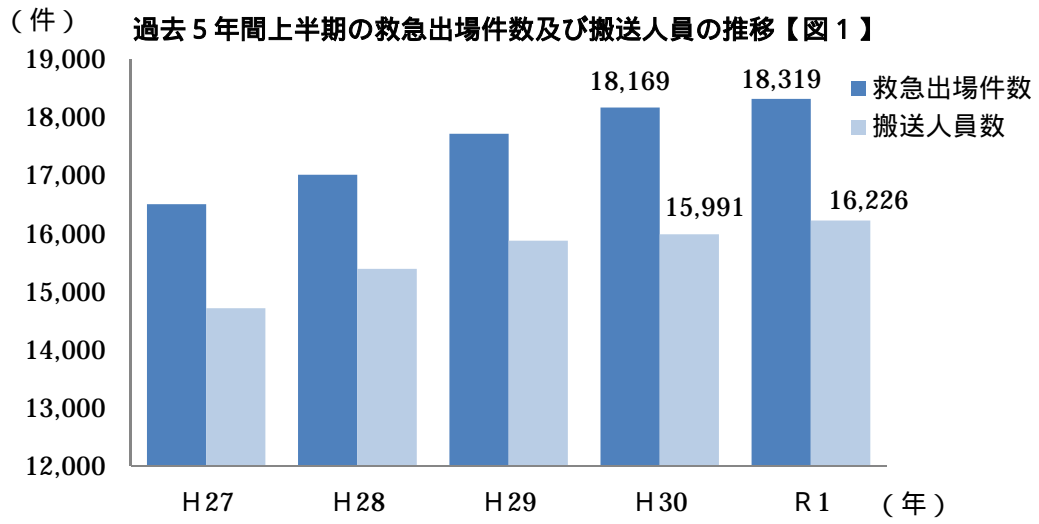
救急車や救急医療は限りある資源です。その資源を有効活用するために、日常のほんの少しの注意や心掛けで防げる「予防救急」の取組や救急車を呼んだ方がいいのか迷ったときは「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」を活用していただきますよう、御協力をお願いします。

2 救急概要

事故種別 区分		令和元年上半期		平成30年上半期		増減 (C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)		(B)				
救急出場件数		18,319		18,169		150	0.8%	
傷病者搬送件数		16,127		15,883		244	1.5%	
不搬送件数		2,192		2,286		94	4.1%	
事故種別内訳	火災	57	(0.3%)	57	(0.3%)	0	0.0%	
	自然災害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	-	
	水難	4	(0.0%)	0	(0.0%)	4	-	
	交通	1,252	(6.8%)	1,311	(7.2%)	59	4.5%	
	労働災害	120	(0.7%)	136	(0.7%)	16	11.8%	
	運動競技	130	(0.7%)	110	(0.6%)	20	18.2%	
	一般負傷	2,437	(13.3%)	2,297	(12.6%)	140	6.1%	
	加害	126	(0.7%)	75	(0.4%)	51	68.0%	
	自損行為	147	(0.8%)	157	(0.9%)	10	6.4%	
	急病	11,697	(63.9%)	11,615	(63.9%)	82	0.7%	
	その他	転院搬送	1,549	(8.5%)	1,587	(8.7%)	38	2.4%
		医師搬送	24	(0.1%)	10	(0.1%)	14	140.0%
		資材搬送	2	(0.0%)	1	(0.0%)	1	100.0%
その他		774	(4.2%)	813	(4.5%)	39	4.8%	
搬送人員		16,226		15,991		235	1.5%	
性別	男性	8,543		8,428		115	1.4%	
	女性	7,683		7,563		120	1.6%	
程度別	死亡	122	(0.8%)	123	(0.8%)	1	0.8%	
	重症	1,213	(7.5%)	1,295	(8.1%)	82	6.3%	
	中等症	6,509	(40.1%)	6,348	(39.7%)	161	2.5%	
	軽症	8,381	(51.7%)	8,225	(51.4%)	156	1.9%	
	その他	1	(0.0%)	0	(0.0%)	1	-	
活動	ドクターカー使用	40		48		8	16.7%	
	ドクターヘリ使用	10		5		5	100.0%	

* 小数点第2位を四捨五入

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合



3 救急隊別活動状況

隊別		令和元年上半期		平成30年上半期		前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署1	1,802	9.8%	1,824	10.0%	22	1.2%
	本署2	192	1.0%				
	田名	860	4.7%	847	4.7%	13	1.5%
	淵野辺	1,537	8.4%	1,547	8.5%	10	0.6%
	緑が丘	1,354	7.4%	1,354	7.5%	0	0.0%
	上溝	1,086	5.9%	1,075	5.9%	11	1.0%
南署	本署	1,690	9.2%	1,686	9.3%	4	0.2%
	新磯	626	3.4%	617	3.4%	9	1.5%
	大沼	1,381	7.5%	1,407	7.7%	26	1.8%
	相武台	1,262	6.9%	1,276	7.0%	14	1.1%
	上鶴間	1,287	7.0%	1,274	7.0%	13	1.0%
北署	本署	1,328	7.2%	1,307	7.2%	21	1.6%
	大沢	829	4.5%	815	4.5%	14	1.7%
	相原	943	5.1%	984	5.4%	41	4.2%
	城山	802	4.4%	862	4.7%	60	7.0%
津久井署	本署	447	2.4%	442	2.4%	5	1.1%
	派出所	509	2.8%	514	2.8%	5	1.0%
	藤野	284	1.6%	302	1.7%	18	6.0%
	青根	100	0.5%	36	0.2%	64	177.8%
計		18,319	100.0%	18,169	100.0%	150	0.8%

* 小数点第2位を四捨五入

* 平成30年4月1日から青根分署で救急隊の運用を開始

* 平成31年4月2日から相模原消防署で日勤救急隊（本署2）の運用を開始

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和元年上半期		平成30年上半期		前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	10,637	65.6%	10,451	65.4%	186	1.8%
2	一般負傷	2,242	13.8%	2,107	13.2%	135	6.4%
3	転院搬送	1,548	9.5%	1,588	9.9%	40	2.5%
4	交通	1,193	7.4%	1,291	8.1%	98	7.6%
5	その他	139	0.9%	133	0.8%	6	4.5%
6	運動競技	134	0.8%	110	0.7%	24	21.8%
7	労働災害	119	0.7%	134	0.8%	15	11.2%
8	自損行為	109	0.7%	106	0.7%	3	2.8%
9	加害	89	0.5%	59	0.4%	30	50.8%
10	火災	14	0.1%	12	0.1%	2	16.7%
11	水難	2	0.0%	0	0.0%	2	-
12	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	-
計		16,226	100%	15,991	100%	235	1.5%

* 小数点第2位を四捨五入

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和元年上半期		平成30年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	49	0.3%	68	0.4%	19	27.9%
乳幼児	986	6.1%	878	5.5%	108	12.3%
少年	593	3.7%	639	4.0%	46	7.2%
成人	5,609	34.6%	5,650	35.3%	41	0.7%
高齢者(65歳以上)	8,989	55.4%	8,756	54.8%	233	2.7%
合計	16,226	100.0%	15,991	100.0%	235	1.5%

* 小数点第2位を四捨五入